

(発表団体のレターヘッド)

世界大会と動員 — 核兵器廃絶、気候の危機の阻止と反転、
社会的経済的正義のために—

国際的運動リーダーの発表

2020年4月24日–26日 ニューヨーク

詳細についての問い合わせ先：(各国の団体連絡先をここに入れる)

【ボストン・ベルリン・東京発】 核兵器廃絶、平和、気候、正義などのために活動する団体は本日、2020年4月24日から26日までニューヨークで行う世界大会と国際的動員の計画を発表しました。核軍備撤廃 (nuclear disarmament) を求める大会と関連諸行事、および気候の持続可能性と正義のための行動は、極めて重要な核不拡散条約再検討会議と広島・長崎の被爆 75 年の直前に開催されます。

大会 (4月24日、25日) には、リーダー、活動家、被爆者が、米国、アジア、ヨーロッパ、そして南半球の国々 (Global South) から結集します。大会は、マーチン・ルーサー・キング牧師が1967年、巨大な影響を及ぼした演説「ベトナムを超えて」をおこなった、高い権威を持つリバーサイド教会で開催されます。全体会議の演説者には、国際的な軍縮、平和、気候、正義などの諸運動のリーダーや世界各地の活動家、研究者、外交官などが含まれます。

4月26日には、何千もの人がマンハッタンで集会を開き、国連に向けて行進し、核兵器の完全廃絶という NPT の約束の実行を求めて一千万筆を超える署名を国連と NPT 再検討会議に提出します。行進は日本と朝鮮の被爆者 (Korean Hibakusha)、掲げる諸問題の相互関連や垣根を超えた運動構築の重要性を理解する参加諸団体のリーダーなどが先頭に立ちます。

大会主催者は、核兵器／核戦争がもたらす生死に関わる危険に立ち向かい、核兵器国および自国政府に核兵器禁止条約への署名と批准を求める多くの草の根の行動が緊急に必要であることを強調します。世界大会はまた、気候の危機を反転させ、増大する所得格差、人種主義、民族主義、外国人嫌悪など危険な悪影響に対して立ち向かうために運動を構築する道を提供するものです。主催者の「世界大会のよびかけ」(添付) は、次のように述べています：

「世界大会は、世界の核兵器廃絶キャンペーン、連携する運動諸団体、核兵器の禁止・廃絶に取り組んでいる外交官などにとって、再検討会議にむかって私たちの廃絶の声をひびかせるまたとない機会となるでしょう。気候問題や社会的経済的正義の運動と結びつけることは、私たちが実現すべき協力関係や諸分野の横断的運動を発展させる新たな機会を提供するでしょう。」

提唱団体には、アメリカフレンズ奉仕委員会、核軍縮キャンペーン（イギリス）、平和軍縮共通の安全保障キャンペーン、原水禁（原水爆禁止日本国民会議）、原水協（原水爆禁止日本協議会）、国際平和ビューロー、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）、ピースアクション、ローザ・ルクセンブルク財団ニューヨーク事務所、西部諸州法律基金などが含まれます。

上記連合を代表して： _____（声明を発表する国の中心的組織の代表者名を入れる）

詳細は、worldconference2020.org をご参照ください。